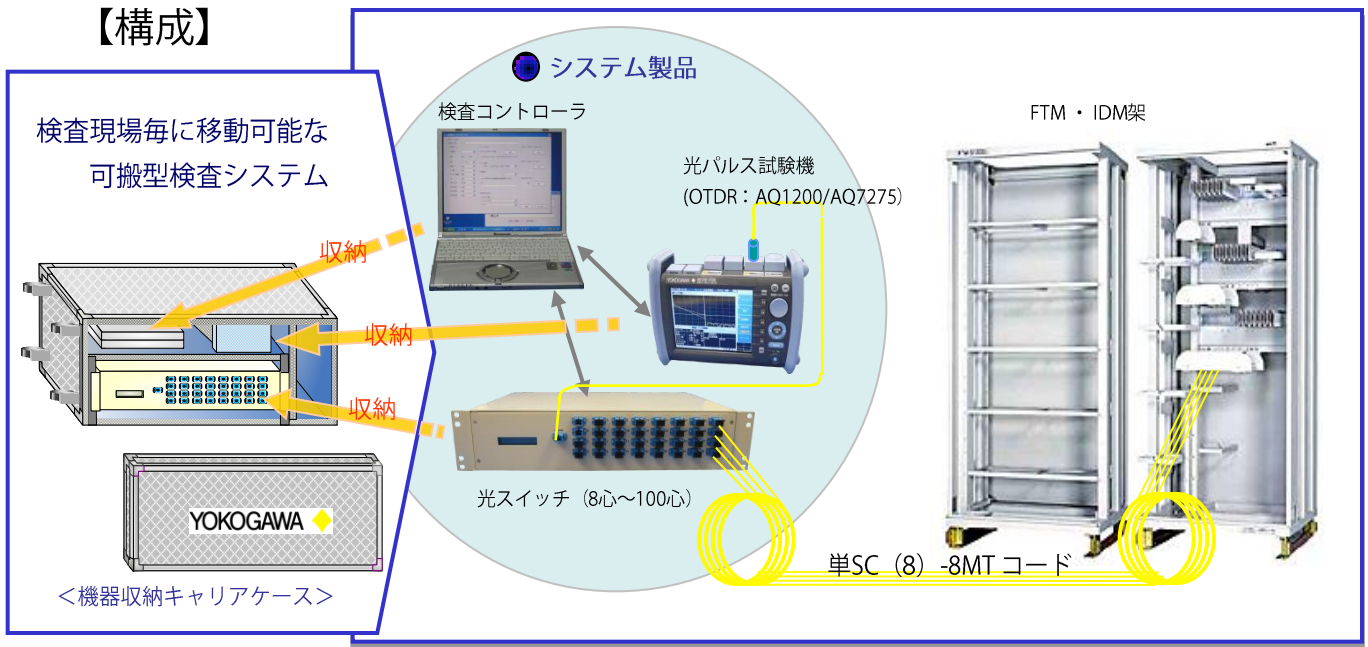


➡ 各種光パルス測定（段取・測定時間）、及び損失測定約50%稼働削減

➡ 各種光パルス測定品質、及び損失測定品質の高品位化

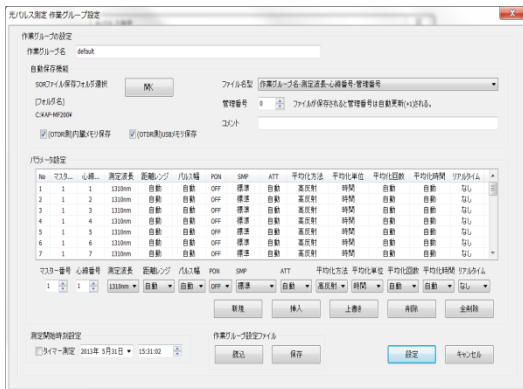
光アクセスサービスの急速な普及・拡大に伴い、光媒体（ファイバー）測定作業が増加し続けています。主な試験として、敷設前後や工事品質担保を目的とした「開通試験」、予防保全を目的とした「定期測定」、修理復旧を目的とした「故障探索」、ファイバーのレベル変動を測定するための「損失測定」が挙げられます。多心光ファイバー自動測定ツールは、測定数が増えることによる作業への負担を減らし、増え続ける線路測定データの容易な整理、専門知識を必要とする光パルス測定の技術継承を簡単にするツールです。

【構成】



【専用コントローライメージ】

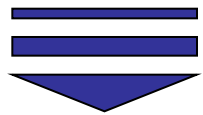
光スイッチに接続された多心光ファイバーケーブルを切り替えながらOTDR測定を行い、測定値を自動保存します。(SORフォーマット)



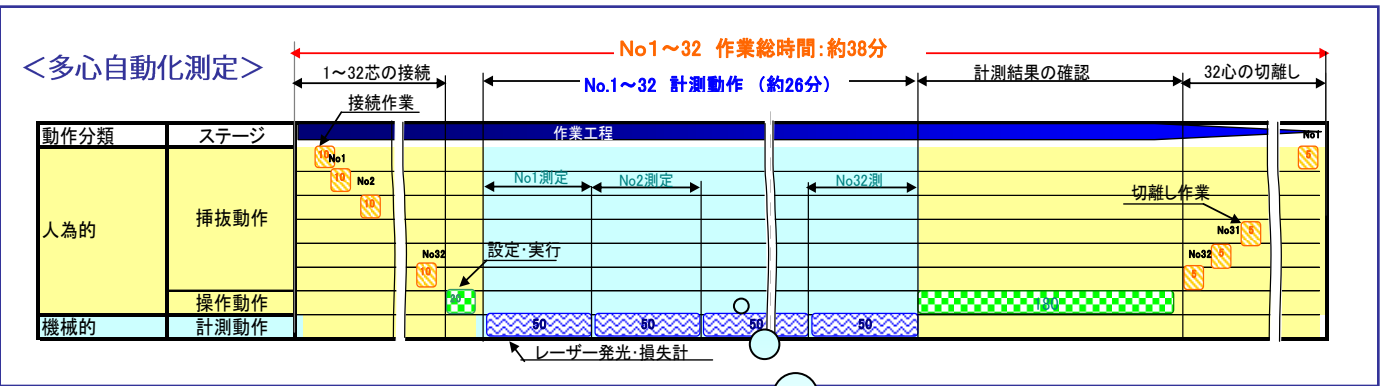
- ◆ 光ファイバーケーブル毎の測定条件設定が可能
- ◆ 測定手順をCSVファイルにて読み込み可能
(測定前の事前準備～測定時の編集も可能)
- ◆ 測定結果(SORファイル)を検査コントローラとOTDRに保存可能

※ 測定時間比較

● 単心毎と多心ファイバー計測時間の比較 (比較条件 波長：1/平均化：4096回/距離:50km × 32心)

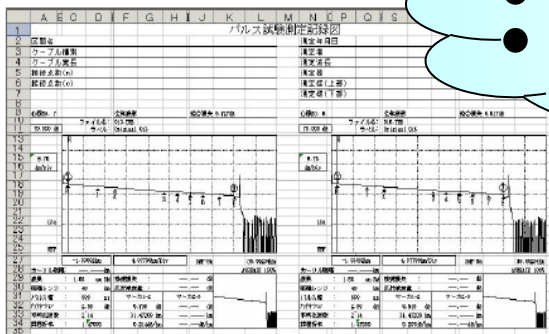


全稼働時間→1/2短縮 : 人為的な作業時間→1/3 • 自動計測時間→2/3



※ 波形解析ソフト・イメージ (AQ7932)

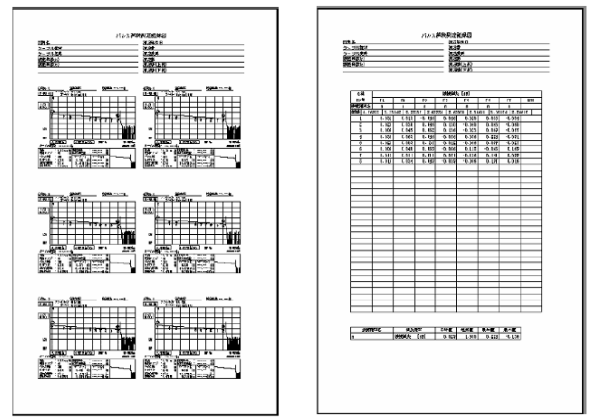
<レポート作成>



【終了待ち時間の有効利用】

- 自動測定中の時間に、解析・レポートを作成 (AQ7932)
- 自動化システムを並列検査 (2倍×2倍の効率化)

<波形出力 / 集計表>



<複数波形の読み込み / 二波形解析>

